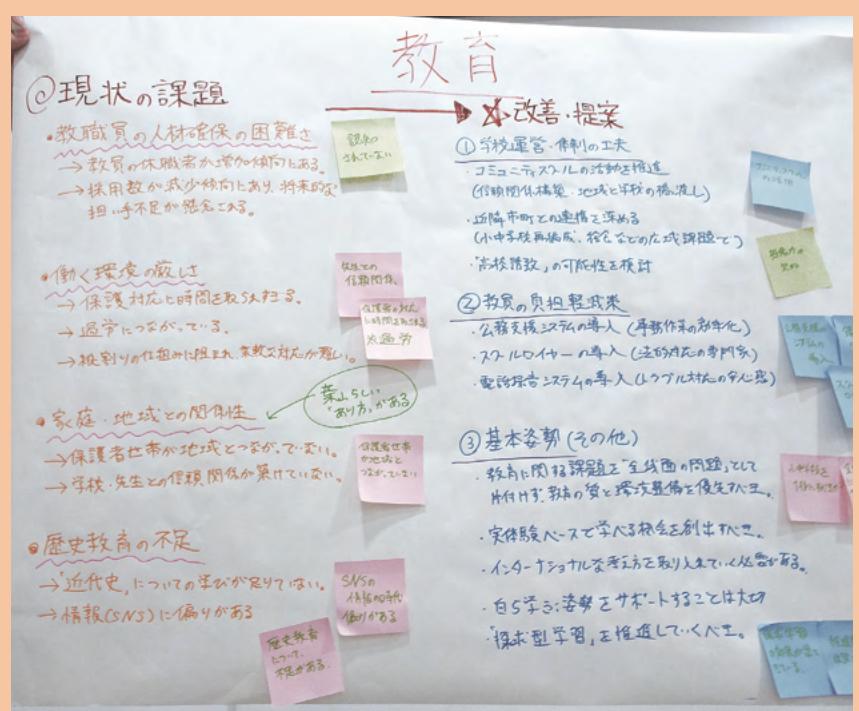




はやま 議会だより



8月21日 議会主催ワークショップ 関連記事はP23

令和6年度 一般会計決算は 6対7で不認定

庁舎維持管理事業



屋上防水改修
太陽光設備設置工事
1億1067万円

評価した事業

楽校をつくろう



小中一貫教育や学校整備基本構想・
基本計画策定等のために

産後ケア利用者負担額減



産後うつ、虐待予防の
ために 142万円

第五次総合計画策定

未来へ守っていくもの、
未来へ進めていくもの

	歳入	前年度増減	歳出	前年度増減
一般会計	144億2251万円	1億2021万円	135億8340万円	1億4643万円
特別会計	国民健康保険	34億5462万円	△2億2406万円	34億740万円
	後期高齢者医療	13億6295万円	1億6161万円	12億7418万円
	介護保険	35億2933万円	2億4470万円	34億3097万円
収益的（日々事業運営に係る）				
下水道事業会計		資本的（施設新設・更新等）		
収入（使用料・会計補助金等）		支出（人件費・業務委託費等）	収入（企業債・国補助金等）	支出（工事費・償還金等）
12億7054万円		11億7502万円	20億5924万円	27億3462万円
前年度増減額	858万円	2405万円	14億1608万円	14億9501万円

町民主導のイベント大成功！
2342万円

ミューーは葉山町のPR大使に

課題とした事業

クリーンセンターの再整備事業



完成時期のずれ込み
(令和7年8月以降稼働)

補助団体の精算業務



社会福祉協議会の補助金未精算金
752万円

水環境の向上



公共下水道工事費助成の見直し
合併浄化槽補助の継続

学校体育館のエアコン設置



猛暑日の増加による学校環境の改善
災害時の避難場所の機能強化

物価高騰への対策



町内会イベントの借り上げバスも値上げ

町民生活に直結する補助内容の見直しを

光熱水費の不用額



令和5年度に続き、不用額が発生

決算特別委員会審査

中村 委員長 星 副委員長
山田・笠原・伊東・待寺・窪田 委員

町長・教育長質問

決算特別委員会の動画



防災減災対策の補助対象・補助額の見直しは？

町長 新耐震グレーゾーン*を対象に加えるか検討中だ。相談等、補助金を利用しやすい環境にしていく。*旧耐震基準と新基準の切り替え時期の建物

問 隣接する横須賀市を参考に補助金増額を。

町長 町村の財政規模であり、踏み出せない。

問 環境課のいけがき助成・ブロック塀撤去補助の実績がない。目的は違うが制度の見直しも含め検討を。

町長 促進の観点から、課の連携を強められるか調べたい。

下水道接続のための補助額の見直しは？

町長 「供用開始後、遅滞なく最新設備を設置しなければならない」と下水道法に罰則はないが規定されており、戸別訪問で制度の案内等を行なっている。公平性の面から、ソフト面で努力する。

問 下水道に接続されなければ町の収入にはならない。制度開始から補助額3万円は変わっていない。工事費高騰もあり見直す必要があるのでは。

町長 大きな動機付けができないか、引き続き検討課題としたい。

令和8年度以降の合併処理浄化槽の補助は？

町長 補助期間内に転換・申請していただいた方との公平性を踏まえながら、考える。施工業者が限られているが7年度中に申請を済ませれば、工事が8年度になっても同額補助をする。

問 期間終了後も、補助を続けてほしいが。

町長 同額は厳しいが、補助制度はなるべく維持したい。

各学校の体育館における空調設備の整備は？

教育長 国補助金を活用し、複数台の室内機を設置する予定だ。

町長 今後の学校再整備もあり無駄にならない投資への判断も含め教育委員会の考えを尊重し、随時対応したい。

問 学校再整備をするとしても体育館は避難所等、様々な利活用を考える必要がある。再整備と別に考えるべきでは。

教育長 すぐに6校がなくなるわけでもなく酷暑も続くが、一遍に設置できるものでもない。中学校2校から検討に入りたい。

町長 交付金等の確保等、速やかに動きたい。

町民活動に伴う各種補助団体への補助額の見直しは？

町長 補助金の性質の見極めが非常に難しく複雑だ。必要性は感じている。

問 共助の観点からも町内会等の役割はもっと強くなるが、加入数が減ってきてている。何か事業を行なうにしても、バス借上げ料も上がっており。回覧板配布等単価の見直しを。

町長 調査し割合等を決めたい。負担感を減らすため電子回覧板も進めている。

産後ケア事業の充実は？

町長 負担額は見直し、対象期間の長さで差別化を図り、近隣市と比較しても十分な取り組みだ。現行を維持したい。

問 里帰り出産も対象にしている自治体もある。光熱水費の不用額が多額だ。しっかりと見積もりを行ない補助事業に回して欲しいが。

町長 8年度予算への意見として聞く。



(次ページへ続く)

教育・子育て #楽校 #産後ケア

金崎 特別支援教育ソフトとは。

答 保護者と教員がその子に対するアンケートをし、個別支援計画を作成する。

金崎 体育の動きを撮影した映像の共有とは。

答 善し悪しの映像を見て探求する、外部には出ない。

窪田 小中一貫教育が始まり、学び方等保護者との連携は。

答 懇談会、便りも含め少しづつ浸透している。

窪田 楽校づくりの浸透は。

答 繼続的に取り組む。

伊東 令和6年度の評価は。

答 高校生奨学金給付金の増額をし、保護者の負担軽減を図った。AIドリルをはじめとした教育ソフトやアプリの導入は、学校現場に変革をもたらすきっかけになった。また、教育ビジョンの策定や学校再整備計画をまとめることができた。

金崎 教職員の研修事業が36000円は少なすぎるが。

答 その他県企画など多くの研修がある。

窪田 産後ケア事業や保育施設拡充をしても残念ながら子どもの数は増えていないが。

答 ニーズは高まっている。受け皿を作っていくのが行政の努めだ。

生活環境 #クリーンセンター再整備

金崎 クリーンセンター再整備の遅延により国からの交付金が1000万円の削減となっている。この責任の所在は。

答 手続きを踏むと納付される交付金なので残念でならない。施工業者にはしっかりと伝える。

近藤 2024年度、一番大きな事件はクリーンセンター再整備工事の5ヶ月遅れ、さらに増工事と物価上昇分の金額に決着がつかず、逗子市と共同運営開始の目途も立たない状況だ。工期が遅れたことに対してどのように考えるのか。

答 施工業者の正確な資料の提出が遅れ苦労した。

近藤 町の施工管理の責任が大きいのではないか。

答 コミュニケーションが不十分だったと認識しているが、現段階では分からない。

近藤 何件かの増工事が行われたが、それぞれ金額を確定して契約を結ばなかったのか。

答 事業者から正確な金額が出てこなかった。

防災 #災害に強いまち

窪田 がけ地や危険木等防災対策補助金を強化しても、利用は伸びない。周知等対策は。

答 相談は受けている。

窪田 緑が多く土砂災害も心配。町内森林調査を早めでは。

答 ドローンを使いデータ上で可視化を図る予定だ。

決算総括質問

みんなでつくる #臨御橋#100周年

金崎 臨御橋の完成見込みは。

答 令和8年、9年の渕水期に工事をする。

金崎 100周年記念行事の成果は。

答 町民の葉山愛を感じる事業執行となった。

伊東 町制施行100周年事業の評価は。

答 町主催の行事もあったが町民主体の事業が100件以上実施され延べ34000人の参加があった。オール葉山で葉山町の文化、歴史、地域の魅力を町内外に発信できた。



行政運営 #ふるさと納税 #交通問題 #計画

金崎 ふるさと納税の赤字削減策は。

答 基軸となる会社の更新を行い、年度末大きく伸びた。

窪田 減り続ける町の人口をどう受け止めているか。

答 世帯が変化している。減少傾向だが税収は伸びた。

窪田 おでかけタクシー券利用状況は。

答 9213枚だ。

窪田 はやまるタクシーの利用が伸びていない。福祉の観点を持つ公共交通策として木古庭・上山口地域への対応は。

答 課題意識を持っている。

近藤 町並みが整備された湘南国際村を市街化区域に編入すれば固定資産税等3000万円以上の増収になるが、検討は。



答 企業から寄付の話もあり、そちらを進めたい。

伊東 令和6年度の行政評価は。

答 公共施設の更新協議や地域交通の課題への実証運行等の新たな取り組みが進展した。

伊東 今後の葉山町の方向性を示す様々な計画が策定されたが現時点での評価は。

答 第五次総合計画をはじめ公共交通、空き家、福祉、子ども、ジェンダー平等、公共施設など複数の計画、構想を策定した。財政計画と連動させ計画目標の実現を目指す。

近藤 監査からの指摘の「電子決裁システムで十分確認されない事案が多数ある」とは。

答 導入直近のため、慣れない面があった。

9月定例会議報告

補正予算

歳入

旧葉山はばたき貸付料	169万円
社会福祉協議会補助金返還金	752万円
教員用タブレット購入（町債）	1200万円

歳出

カーナビを搭載した公用車のNHK受信料の支払9台分	36万円
リース車両はリース会社の支払では。 NHKと協議し、町の支払となった。	

産後ケア委託料	200万円
事業者の増は。 7年度から1社の新規契約があった。	

紙おむつ等の回収ボックス購入	62万円
3ヵ所の設置場所の1つがなぜ、南郷上ノ山公園なのか。 ドッグラン及びインクルーシブ遊具での子ども連れなどニーズを満たすとの判断だ。	
葉桜で実証実験をし、ニーズが有りながら、設置場所に入っていないが、住民へどのように説明するのか。 実験期間が終われば撤収することは理解されている。 燃やすごみが週1回になり困っている方たちへの対応は。 ぜひ相談していただくようお知らせしていく。	

9月3日から10月8日までの日程で、補正予算、条例改正、陳情などを審査しました。

太陽光発電設備設置工事 2859万円

- 問 環境省からの交付金等はないのか。
答 対象となる補助メニューがなかった。
- 問 蓄電池の設置は。
答 夜間稼働する施設ではないので、400万円のコストをかけるのは妥当ではない。

債務負担行為
堀内防災広場に町営駐車場を設置するための整備・運営
(令和7~14年度) 1300万円

- 問 防災用空地を、なぜ有料駐車場にするのか。
答 土地の有効活用だ。町内イベント等の利用は妨げない。
- 問 様式は。
答 ゲート方式で外周に車を停め、後方に車止めを設置する。

問 子どもたちも入る可能性があり、車止めにつまずく危険もある。
安全性は。
答 看板の設置等、よく協議する。

問 年間収益は。
答 経費を差引し400万円を見込んでいる。

問 利用料無料の30分は長いのでは。
答 職員による調査・観察を基とした。

一般廃棄物収集運搬業務委託（軽車両コース）
(令和7~11年度) 1億876万円

- 問 収集忘れ等のトラブル解消は。
答 現在では解消している。
- 問 3年契約のスケールメリットが見受けられないが。
答 据え置きになっているので、物価高等を考慮してスケールメリットとなっている。

委員会審査結果

一般会計……………賛成少数で不認定
国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・
下水道事業会計……………全会一致で認定
後期高齢者医療特別会計……………賛成多数で認定

町への指摘・要望・意見

指摘

- 補助団体における概算払いの精算には留意すべきである。
- 専任の図書館長を配置すべきである。
- 人命に係る補助事業における補助額を始め補助対象、補助率の見直しをすべきである。
- 各学校の体育館における空調設備を早急に整備すべきである。
- 公共下水道接続率向上のため、工事費助成金額の見直しをすべきである。
- 生活排水による水質汚濁防止のため、合併処理浄化槽の補助を継続すべきである。

要望

- 公共施設における光熱水費について、決算額に多額の不用額を生じさせないよう予算見積されたい。
- 物価高騰に伴い、町民活動に直結する補助事業の補助金額の見直しをされたい。

意見

- 産後ケア事業における自己負担額を軽減すること。
- クリーンセンター再整備事業における遅延についての検証及び諸課題を早急に解決すること。

本会議での審議結果

主な討論（一般会計）

賛成

- 100周年事業やDX推進事業等を評価できる。
- 重大な不適正が存在しないのにもかかわらず不認定とすることは議会の信頼を損ないかねない。
- 多額の不用額が発生しないよう願いたいが、予算執行は順調であり適正な財政活動が行われていると判断した。
- 中学校図書室の放課後開放を評価する。

反対

- 社会福祉協議会への補助金精算が見逃されていたことが問題である。
- クリーンセンター再整備事業の遅延から多くの問題点を生み出した。
- 逗子市との生ごみ資源化処理施設の共同運用の見通しが立っていない。

審議結果



南郷中学校図書室

一般会計……………賛成少数で不認定
国民健康保険特別会計……………全会一致で認定
後期高齢者医療特別会計……………賛成多数で認定
介護保険特別会計……………全会一致で認定
下水道事業会計……………全会一致で認定

討論があつた陳情審査

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

委員会審査

「現行制度で不便を感じている人や、これから結婚する人の選択肢を広げるためにも、制度の導入は必要」「旧姓使用の法制化だけでは解決できない問題もある」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

本会議討論

賛成

●「多様な生き方を認め合う社会をつくっていこう」という町の意思を国に伝える必要がある。



葉山町議会議員が町民の信頼を一層深めるための行動規範に関する協議開始を求める陳情

委員会審査

「陳情をきっかけとして協議すべきである」「すでに政治倫理条例がある」などの意見がありましたが、賛成少数により不採択としました。

本会議討論

賛成

●信頼される議会への第一歩である。

反対

●具体的な提案がなく、目的が不明確だ。●政治倫理条例の他、別の行動規範を設けることは、議会運営を複雑にする。

不登校児童生徒への葉山町の支援策に関する陳情書

教育委員会からは「令和8年度からのフリースクール等の利用料に対する補助の準備を進めている」との説明を受けました。

委員会審査

「教育委員会もフリースクール等の必要性を認めている」「経済的負担により不平等が生じないように補助制度の早期の実現を望む」「陳情の趣旨である補助制度、居場所と学びの機会について、できることから進めて欲しい」などの意見でまとまり、全会一致で採択しました。

本会議討論

賛成

●公教育には誰一人取り残さず学びの機会を保証する使命があり、フリースクール等への支援は町の教育を新しい時代に進める第一歩と捉える。



「再審法改正を求める意見書」採択に関する陳情

委員会審査

「一刻も早く改正すべき」「証拠開示と再審開始決定に対する検察官の不服申し立てに問題があり、えん罪被害者の速やかな救済を妨げている」との意見でまとまり、全会一致で採択し、国に対し意見書を提出すべきとしました。

本会議討論

賛成

●袴田事件のように冤罪を生む最大の土壤は一刻も早く解消すべきである。

下山口開発地の雑草除去に関する陳情書

委員会審査

「土地所有者の町民への対応が良くない」「雑草の除去はされており、願意は達成している」との意見がありましたが、賛成多数で採択しました。

本会議討論

賛成

●刈り取った雑草処理が不十分とのことなので、事業者に確認し、適切な指導をすべき。
●事業者の責任として近隣住民に寄り添う姿勢を促すため、採択は必須。

反対

●すでに願意は達成されており、議会として町に新たな措置を求める段階にはない。



条例審査

葉山町公共下水道施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例

葉山町下水道条例の一部を改正する条例

*一括審査としました。

ウォーターPPPとは民間の力を借りた公共施設等運営事業と管理更新一体マネジメント方式の2つの手法を称したものです。その導入のための提案と下水道使用料の見直し及び災害その他の非常の場合における排水設備等の復旧工事の円滑な実施を図るために一部改正です。公共下水道審議会の答申に基づき激変緩和措置を取っています。

委員会審査

「リスクは議会が監視することで減らすことができる」「使用料の現状を続けると国の交付金の重点配分の対象外になる。近隣市町村と比較すると安いので使用料の改定はやむを得ない」「福祉施設等の減免については、弱者にしわ寄せが行かないよう、福祉部門としっかり調整することを望む」「様々な物価高騰の中、なぜこのタイミングでの使用料改定なのか」「パブリックコメントも実施せず賛成できない」との意見がありましたが、賛成多数で可決しました。

本会議討論

賛成

●長期契約によるスケールメリットがある。民間事業者の経営ノウハウにより、事務負担の軽減・事業の効率化が図れる。
●単なる民営化ではなく、町の責任のもと官民のそれぞれの強みを活かして協働する新たな運営形態なので、現実的な選択肢である。
●施設の老朽化対策、収入の減少、一般会計への過度な依存解消、物価上昇等による経費の増加等の観点から料金改定はやむを得ない。
●パブリックコメントの実施はかえって町民の不満と不安を煽り有効な時間の使い方とは思わない。現状理解のプロセスを踏んで欲しい。

反対

●54%も引き上げる方針は納得がいかない。
●住民の生活に直結する重大な政策変更なので、パブリックコメントを通じて広く意見を聞くべき。

皆さまから寄せられた 請願・陳情の審査等

委員会レポート



総務建設

委員長 荒井直彦

地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

委員から「陳情の趣旨・内容はもっとであり、各項目とも大切なことである」との意見でまとまり、全会一致により採択し、国に意見書を提出することとしました。

臨御橋の架け替え工事を御用邸にふさわしい木の橋にすることの陳情書

委員から「職員からの説明で技術的に木の橋にすることはできないことが分かった」との意見があり、賛成なしにより不採択としました。



臨御橋

特別職（町長・副町長等）に対する倫理規定の制定を求める陳情

委員から「議会が制定するものではないが、陳情の趣旨は理解できる」との意見でまとまり、全会一致により趣旨了承としました。

公共施設内での労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情

委員から「陳情の趣旨は、労働組合や政治活動の自由を制限するものである」との意見や、職員の説明から「苦情や相談の実態もない」とのことから、賛成なしにより不採択としました。

所管事務調査

- 都市計画マスターplanパブリックコメント素案について
- 下山口茅木山の造成工事の進捗について

議会広報

委員長 山田由美

主権者教育

議会ホームページにリーフレット「フリーレンたちと学ぶ地方議会」を掲載しました。



©山田鐘人・アベツカサ/小学館



©山田鐘人・アベツカサ/小学館

町村議会広報研修会

(8月28日渋谷開催)

先進事例を学びました。研修会では、葉山町議会だよりの動画が題材に取り上げられました。



題材に取り上げられた葉山町議会の動画

議会運営

委員長 伊東圭介

議会改革

各会派・議員から提案された7項目31点の改革項目の補足説明を受け、今後の進め方を協議しました。

教育民生

委員長 待寺真司

令和8年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情

令和8年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情

*一括審査としました。

担当課から「令和8年度も事業の継続をしていく予定」との説明があり、委員からは「困っている人のためにも例年通り採択したい」「最低でも現状維持」との意見でまとめ、全会一致で採択しました。

所管事務調査

- 葉山町こども計画の進捗状況
- 学校再整備に向けた検討状況の報告

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

委員長 金崎ひさ

8月21日、工事が完了したクリーンセンターを視察しました。

請負代金15億8400万円の契約金残額を支払い8月29日に町に引き渡されました。今後は工事遅延に関する協議が行われます。

◆共和化工(株)との協議

- 設計変更に伴う増額分8455万4800円が示されました。町の査定としては1605万6760円との回答をしました。まだ、決定には至っていません。



稼働し始めた生ごみ資源化処理施設

◆逗子市との協議

- 工期延長に起因して発生した金銭的損害が示されました。
- 生ごみを葉山町に搬入する条件が示され、10月末までに協議が整わなければ令和8年度当初予算には計上できないとの連絡がありました。

各取り組みの報告

- 葉桜地区で行った紙おむつ等の実証実験から、課題として拠点回収ボックスの設置場所等の検討が必要。
- 紙おむつ対策は、今後も調査・研究を進めながら、まずは紙おむつ等専用ボックスを3カ所設置する。
- 燃やすごみ収集が週1回になったことによる状況変化に合わせて、クリーンセンター業務員によるヒアリングを実施。
- 分別収集した生ごみは、3月～7月まで約386tを民間資源化施設で処理し、処理・運搬費は約1793万円。7月一部・8月(228t)からクリーンセンターによる資源化開始。



南郷公園に設置された紙おむつ等回収ボックス

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第45号	葉山町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第46号	葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第47号	葉山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第49号	令和7年度葉山町一般会計補正予算（第5号）	可決	P7
議会議案第7-13号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	P13
議会議案第7-14号	再審法改正を求める意見書	可決	P13
議会議案第7-15号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	可決	P13
陳情第7-21号	令和8年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情	採択	P10
陳情第7-22号	令和8年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情	採択	P10
陳情第7-23号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	P11
陳情第7-25号	特別職（町長・副町長等）に対する倫理規定の制定を求める陳情	趣旨了承	P11
陳情第7-27号	御用邸の臨御橋の架け替え工事を鉄の橋にするのではなく、葉山町の御用邸にふさわしい木の橋による素晴らしい臨御橋にすることの陳情書	不採択	P11
陳情第7-31号	公共施設内での労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情	不採択	P11

第2回定例会 9月定例会議 表決結果

議員氏名(議席順)	議案・決議・陳情等													結果	関連記事	
	三浦	星	笠本	中村	石岡	山田	金崎	荒井	笠原	待寺	窪田	近藤	伊東	土佐		
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P7
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不認定	P3,6
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	P3,6
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	P3,6
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	P3,6
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	P3,6
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P8
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P8
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
陳情第7-24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	P8
陳情第7-26号	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	不採択	P9
陳情第7-28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	P9
陳情第7-29号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	P8
陳情第7-30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	P9

○は賛成 ×は反対 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

意見書 国へ

※誌面の都合上、要約しています。

地方財政の充実・強化を求める意見書

2026年度政府予算及び地方財政の検討にあたっては、国に次の事項の実現を求める。

- 一般財源の充実
- 社会保障ニーズに対応できる人材確保のための財源措置
- 地方交付税の法定税率の引き上げ、所得税及び消費税の地方税への税源移譲の推進
- 減税政策の際の地方財政への影響に対する確実な補填
- 「地方創生推進費」の恒久財源化、また行革努力の成果に応じた算定方法の見直し
- 雇用の安定・処遇改善のための財政措置
- 諸手当の支給水準が国の基準を超える自治体への特別交付税減額措置の廃止
- 自治体業務システム標準化・共通化に伴う必要財源の補填及び運用に係る財政支援
- 地域公共交通の維持・拡充のための財源措置
- 地方交付税の財源保障・調整機能強化
- 自治体が行う事業における労務費の適切な価格転嫁のために必要な財政支援

再審法改正を求める意見書の提出について

えん罪被害者を救済するための制度である「再審」について、検察の証拠開示に係る明文規定が存在しないこと、再審開始決定に対する検察官の不服申立てによりいたずらに審理が長引くことが問題となっていた。よって、被害者を早く確実に救済するために、再審請求手続における証拠開示の制度化及び再審開始決定に対する検察官の不服申立ての禁止を含む再審法の速やかな改正を強く求める。

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

現行法では、どちらかが改姓しないと婚姻は成立しないが、現代では、改姓によるキャリアへの影響が大きく、国際的な場面での不便も生じている。

選択的夫婦別姓制度は、こうした問題を解決し、「自分の名前で生きたい」という個人の人権を尊重できる社会の実現につながる。よって、国会及び政府に対して、選択的夫婦別姓制度の国会審議を推進し、法制化を強く求め、関連する法整備を求める。

三浦大輝	近藤昇一	山田由美	待寺真司	荒井直彦	笹本貢史	石岡実成	滝田美樹	中村和雄	星 加代子	金崎ひさ
リユース制度	市民参加条例	開発問題	8年度予算編成方針	南郷交差点の改良	無電柱化の取り組み	フリースクール	災害時の避難誘導	人口減少と町政運営	生徒・児童の安全対策	プラスごみ分別
P.20	P.20	P.20	P.18	P.18	P.18	P.16	P.16	P.16	P.14	P.14

町政を問う



一般質問

皆さんはどのテーマに关心がありますか？

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を見ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。



分別したのに焼却処分



南郷上ノ山公園で開催された葉山マラソン（葉山町教育委員会のFacebookより）

金崎ひさ

プラスチックごみの分別は無駄では



環境部長 資源化を目指している

教育長 全職員の倫理確認に加え研修を強化する

問 プラスチックごみは分別をして8万円／トンで焼却処分している。燃やすごみの処理費は5万8千円／トン。無駄な分別ではないか。

環境部長 将来は資源化を目指している。

問 達子市の生ごみ搬入について条件が出されたとのことだが。

環境部長 資本費の決定と搬入量の平準化の撤廃、そして、達子市が被った損害の整理だ。

問 葉山町こども計画に「長柄地区に子育て支援拠点の確保を目指す」とある。協働の申し出があるが、計画実現に向けての行動は。

町長 事業の実施には、ステップが必要だ。

問 小中一貫校が1年延びた理由は、堀内会館の建替計画との予算措置の関係なのか。

町長 事業の実施には、ステップが必要だ。

問 茅木山の樹木の伐採行為が目に余るが。

都市経済部長 管理行為との確認をした。

問 現在行われている、施設分離型小中一貫校でもできることを、進めるべきと思うが。

教育部長 変化している手応えは感じる。

問 茅木山の樹木の伐採行為が目に余るが。

都市経済部長 管理行為との確認をした。

問 取り付け道路幅の問題や、開発地で水路を勝手に撤去し、垂れ流し状態で水溜まりになつている状態などをどう考えるか。

都市経済部長 まちづくり条例の運用等を内

部で議論している。

問 昨今の津波警報や線状降水帯発生で、町として学んだことは。

総務部長 ハザードマップ周知の必要性だ。

星 加代子

生徒・児童の安全と信頼回復のための取り組みは



教育長 全職員の倫理確認に加え研修を強化する

問 教職員による不祥事を受け、生徒・児童の安全と信頼回復のための取り組みは。

教育長 全職員の倫理確認を行い、専門業者によるカメラ点検を実施した。再発防止のため研修を強化する。

問 子どもが「嫌」と言える教育を。

教育長 同意・不同意の考え方を教える研修を導入し、子どもの心を守る。

問 バリアフリー・ビーチの推進を継続していく。

問 一色海岸に続き森戸海岸にもマットが敷かれ、車いすの方や高齢者にも喜ばれている。今後の拡充と駐輪対策は。

問 海水浴場組合やボランティアと協力し、バリアフリー・ビーチの推進を継続していく。

問 ペット連れ避難訓練や専用避難所の整備を求める声が多いが。

問 キッチンカーとの災害協定や、防災を楽機会を増やせるよう検討している。

問 带状疱疹ワクチンの任意接種に対しても、助成拡大を求める。

問 ペット連れ避難訓練や専用避難所の整備を求める声が多いが。

問 健康増進施設利用券の追加交付を。

問 福祉部長 利用状況を踏まえて検討する。町民には、ウォーキングや貯金運動など身近な運動習慣づくりもお願いしたい。

問 教育長 駐車場運営等を含め、検討していく。

中村和雄

人口減少に備えた町政運営を行っていく

南郷上ノ山公園の
インクルーシブ遊具

滝田美樹

津波警報発令時、避難誘導連絡は



葉山にも手話の花を咲かせよう



自作のプレゼン資料

問 人口減少時代を迎えるが、町政運営は、国・県の財政状況をしっかりと注視し、持続可能な財政運営を行っていく。

問 地方交付税や国庫補助金の確保について、どう見通しているか。

政策財政部長 堅調に推移すると見込んでいますが、地方交付税の配分率の引き上げを求めていく。高齢者や子ども関係の社会保障費の増に対応できるよう確保に努めたい。

問 攻めの対策も重要なと考える。以前「教育都市宣言をしてはどうか」と質問したが、さらに広げて「安心して働き、子育てができるまちづくり」を打ち出しては。

町長 教育をとくに共感し、小中一貫校にも取り組んでいる。葉山は治安の良い町

であり、「夕方までも子どもが遊べるまち」を掲げて、インクルーシブのまちづくりや子どもが安全に遊べるまちのイメージをSNS等さまざまな媒体を使って発信していきたい。

問 専任でなくしていいから、人口減少対策の担当者を置いて準備を始めては。

都市経済部長 人口減少、職員の減少に危機感を持っている。都市経済部と環境部の横断的インフラ管理の検討会を設置した。

首長とリーダーシップ

問 これから人口減少という未経験の時代に入っていく。職員に存分に力を發揮して欲しい。町長が心掛けているリーダーシップとは。

町長 町民を主役に、職員は縁の下の力持ちであり、その一番下にいるのが自分と考えている。政治家としてたくさんの質問をストッキし、これらを町政にどう反映できるか。私の役割と考えている。

問 教育部長 給食施設整備検討時、浄水器使用例は聞いていない。水道水使用を継続したい。

問 産前、産後の子育て支援策の充実

問 妊娠中、体調不良等で家事ができない方

問 福祉部長 先進事例の枠組み等を研究したい。

問 加齢性難聴者への補聴器購入費助成

問 福祉部長 県の8年度に向けた補助検討の要件をクリアすべく、前向きに検討している。

問 福祉部長 合理的配慮の提供に向け周知の状況は。

問 町長 現状把握のためアンケートを実施する。

問 福祉部長 条例に何を盛り込むのか。県条例見直しも把握し、町に必要かも検討したい。

問 政策財政部長 地方交付税や国庫補助金の確保について、どう見通しているか。

政策財政部長 地方交付税や国庫補助金の確保について、どう見通しているか。

問 政策財政部長 堅調に推移すると見込んでいますが、地方交付税の配分率の引き上げを求めていく。高齢者や子ども関係の社会保障費の増に対応できるよう確保に努めたい。

問 政策財政部長 堅調に推移すると見込んでいますが、地方交付税の配分率の引き上げを求めていく。高齢者や子ども関係の社会保障費の増に対応できるよう確保に努めたい。

問 町長 教育をとくに共感し、小中一貫校にも取り組んでいる。葉山は治安の良い町

であり、「夕方までも子どもが遊べるまち」を掲げて、インクルーシブのまちづくりや子どもが安全に遊べるまちのイメージをSNS等さまざまな媒体を使って発信していきたい。

問 町長 専任でなくしていいから、人口減少対策の担当者を置いて準備を始めては。

都市経済部長 人口減少、職員の減少に危機感を持っている。都市経済部と環境部の横断的インフラ管理の検討会を設置した。

問 教育部長 給食施設整備検討時、浄水器使用例は聞いていない。水道水使用を継続したい。

問 産前、産後の子育て支援策の充実

問 福祉部長 先進事例の枠組み等を研究したい。

問 加齢性難聴者への補聴器購入費助成

問 福祉部長 県の8年度に向けた補助検討の要件をクリアすべく、前向きに検討している。

問 福祉部長 合理的配慮の提供に向け周知の状況は。

問 町長 現状把握のためアンケートを実施する。

問 福祉部長 条例に何を盛り込むのか。県条例見直しも把握し、町に必要かも検討したい。

問 政策財政部長 地方交付税や国庫補助金の確保について、どう見通しているか。

政策財政部長 地方交付税や国庫補助金の確保について、どう見通しているか。

問 政策財政部長 堅調に推移すると見込んでいますが、地方交付税の配分率の引き上げを求めていく。高齢者や子ども関係の社会保障費の増に対応できるよう確保に努めたい。

問 政策財政部長 堅調に推移すると見込んでいますが、地方交付税の配分率の引き上げを求めていく。高齢者や子ども関係の社会保障費の増に対応できるよう確保に努めたい。

問 町長 教育をとくに共感し、小中一貫校にも取り組んでいる。葉山は治安の良い町

政策財政部長 持続可能な財政運営を行っていく

問 行っていける
政策財政部長 持続可能な財政運営を行っていく

問 行っていない。事後の検証の必要性を感じている

問 総務部長 行っていない。事後の検証の必要性を感じている

問 教育部長 県の補助要綱に合わせて進めていく

問 総務部長 県の補助要綱に合わせて進めていく

問 総務部長 総務部長 個別計画作成の難しさを感じる。自治会・町内会等、身近な方の連携強化で対応は。

問 総務部長 個別計画はケアマネや民生委員等の多角的視点の中で策定される。身近な連携としては自主避難所の案内等があげられる。

問 総務部長 教育環境の充実

問 総務部長 総務部長 個別計画はケアマネや民生委員等の多角的視点の中で策定される。身近な連携としては自主避難所の案内等があげられる。

笹本貢史

無電柱化実現に向けた

現在と今後の取り組みは



無電柱化

都市経済部長

県と調整し、令和8年度の県の改定に合わせ、策定したい

問 無電柱化実現に向けた現在と今後の取り組みは。

答 県と調整し、令和8年度の県の改訂に合わせ、策定したい。

問 町長から「令和7年12月までに県の計画にのせたい」との答弁を受けたが。

答 都市経済部長 12月の協議会に採択されると、国の交付金を活用できることになる。

問 工費と区間、条例制定は。

答 都市経済部長 一般的には1mあたり50万円で、交付金は55%だ。国道、県道分それぞれ約200m。他自治体の制定の例は承知しているが、まず無電柱化に注力したい。

問 横断歩道の設置についてうかがう。

答 政策財政部長 町は警察本部に要望。警察が長柄付近の交通安全問題

問 横断歩道の設置についてうかがう。

答 政策財政部長 町は警察本部に要望。警察が長柄付近の交通安全問題

検証をした結果、現状は安全に横断できるとの判断だ。状況が変化すれば再検討する。

問 はやまるタクシー

答 政策財政部長 通勤通学時間帯にも運行を。

問 政策財政部長 空いている時間帯の代わりに、運行時間を前後させる旨、検討中だ。

問 孤独・孤立対策

答 福祉部長 葉山町孤独・孤立対策計画等策定予定は、関連法令施行時「自治体に過度の負担になるおそれがあることから求めない」とする国の通知がある。町は福祉プラン等の中で重点的に取り組む考えだ。

問 動物の保護（ペットでない動物）

答 環境部長 TNR活動*の公的補助についてうかがう。

答 環境部長 令和4年度から動物愛護団体の方に補助している。有益であり継続したい。

*飼い主のいない猫を減らすための活動



南郷トンネル横の状況①



南郷トンネル横の状況②

町長

混雑解消に向けた対策の模索を進めたい

問 南郷交差点の改良及び全体整備の考えは。町長 神奈川県に情報共有を図り、要望として伝えている。

問 神奈川県の意向は。

町長 河川や歩道橋などの物理的な制約により県が難色を示している。現在の混雑は、南郷トンネル北側区間の開通により今後解消されると見込んでいる。

町長 町として構想を持つべきではないか。

町長 町で構想を策定しても可能性は極めて低いものと考えているが、混雑解消に向けた対応策の模索を進めたい。

町長 スターバックスの裏から南郷トンネル逗葉新道側出口付近のバス停横に出口を開けたらどうか。

都市経済部長 現場の状況を整理して、可能

性について探つてみたい。

問 イノシシ対策

答 環境部長 令和7年9月1日施行で「鳥獣の保護及び管理並びに狩獵の適正化に関する法律」が改正されたが、町には影響があるのか。

答 環境部長 従来は、警察官職務執行法や刑法などにより執行しなければならず、迅速な対応が課題だったが、法が改正されたことにより、一定の条件のもとで町長がイノシシの銃猟を捕獲者に委託して実施させることが可能になつた。

問 公園施設長寿命化計画の進捗状況は。

答 都市経済部長 令和7年6月に策定をしてい

る。交付金の有効活用を念頭に施設の更新等も検討していく。

問 教育環境の整備

答 福祉部長 多彩なメニューを揃える事で進めてきた。単価面はあるが今の方向で実施していく。

問 食事代の実費だけ受益者負担を求めては。

答 福祉部長 食事代の実費だけ受益者負担を求めては。



未実施学校のトイレ改修は早急に



待寺真司

令和8年度当初予算編成の方針の変更点は



町長

不用額削減のため予算積算の精緻化に取り組む

問 令和8年度当初予算編成方針に関し、7年度との変更点や光熱水費積算について伺う。町長 生成AI等の業務支援ツール利活用及び導入を図る。光熱水費をはじめとして、不用額削減のため予算積算の精緻化に取り組む。

答 政策財政部長 2年続けて多額の不用額が発生した光熱水費は予算編成方針に明記した。各施設の使用状況を踏まえ、不用額については2月補正で基金に積み増す。

問 風水害時宿泊費助成制度で、上限補助額の増額及び補助対象者の拡充を強く求めるが。町長 生成AI等の業務支援ツール利活用及び導入を図る。光熱水費をはじめとして、不用額削減のため予算積算の精緻化に取り組む。

答 総務部長 安全に関する補助事業は日々考え方直すべきとの認識だ。対象者拡充も検討する。

問 危険木伐採や崖地の防災事業などは、隣接する横須賀市や逗子市と足並みを揃えては。

答 総務部長 横須賀市や逗子市と足並みを揃えては。

問 横須賀市の事例など県内の状況を調査する。相談事業にも目を向けて検討する。

問 産後ケア事業の拡充を評価するが、自己負担額がない自治体もある。さらなる拡充を。

答 町長 多彩なメニューを揃える事で進めてきた。単価面はあるが今の方向で実施していく。

問 食事代の実費だけ受益者負担を求めては。

答 福祉部長 食事代の実費だけ受益者負担を求めては。

問 高校生奨学事業の給付金の増額と、9月と翌年3月の支給時期の制度改正を求めるが。

答 教育部長 支給額は国や県、近隣自治体の状況を参考に慎重に対応する。給付時期は県の給付制度を参考に前倒しする準備を進めている。

問 新設予定の小中一貫義務教育学校の開校まで最低でも7年だ。トイレの改修整備を。

答 教育部長 トイレには問題意識を強く持つており、未実施学校の整備の必要性を検討する。

山田由美

撤去されたU字溝の復活は事業者に指導したい



都市経済部長

事業者に指導したい



茅木山右側の様子



茅木山の開発予定地



山肌が露出された風致地区内の土地

止水板を設置する予定だ。

終活

問 終活情報の登録制度の研究は、横須賀市、鎌倉市、逗子市では実施されている。

福祉部長

まずはセミナーで、終活の必要性を広めたい。

問

6月の終活支援セミナーの反応は。

福祉部長

62人が参加し、好評だった。

問 遺贈寄附についての周知は。

政策財政部長

事例を研究中だ。

津波被害

問 大規模地震の場合、数千人規模で高台に避難者が滞留する想定は。7月のカムチャツカ半島地震で、葉桜住宅に逗子側から避難者があつた。高台の住民にも、低地からの避難者を支援する心構えが必要かもしれない。

総務部長

色々盛り込んで対策を作りたい。

町長 前回の答弁で不適切な表現があったとすれば、お詫びをしなければいけないという思いで聞いた。

問 「まちづくり条例」改正の時期は。

都市経済部長 規則の改正を議会とも相談しながら進めたい。時期は未定だ。

開発問題

問 下山口茅木山で風致地区条例を無視した樹木の伐採が進んでいるが町の対応は。

都市経済部長

一部で相談もなしに進められている。事業者に報告を求めている。

問 下山口茅木山で風致地区に隣接する町有地から地下水が流れ出ている。この場所はかつて河川になっていた場所で、その開発に伴って暗渠になっている。事業者による水脈などの調査が不十分ではなかつたのか。町の対応は。

環境部長 今の状態を注視し、さらなる措置が必要であれば、対応をする必要がある。



先進的なリユースの取り組みをする横須賀市の事例(横須賀市HPより)

が広がる中で、公教育が学びの基盤としての仕組みを維持すると同時に、時代にあわせて、その役割を再設計することも必要になつてゐる。今後、公教育の責任をどう捉えるか。

教育長 新しい指導要領でも、議論される論点だ。知識・技能を土台に、子どもを「学びから切らせない」全ての子どもに基盤的学力と社会性を保障する仕組みを維持し、包摂的な教育を進めたい。フリースクール等との役割分担も進める時期になつていると考える。

問 200億円規模の学校再整備事業だ。町全体の将来価値に結びつける視点を持ち、単なる建て替えでなく、地域福祉や防災、世代や立場を超えた人々が交わる地域の学びの拠点になるよう部課を超えた横断的議論をすべきでは。教育部長 職員全てが自分事として、このテーマや人口減少社会といった難局を乗り越える覚悟だ。役場の力を結集して臨みたい。

三浦大輝

粗大ごみリユース制度を導入しては方向性は同意見だ



環境部長

粗大ごみリユース制度を導入しては方向性は同意見だ



先進的なリユースの取り組みをする横須賀市の事例(横須賀市HPより)



町民との会議のお知らせ

まちづくりに、皆さんのご意見をお聞かせください。

日 時 令和8年2月7日(土)、14日(土) 10時～11時30分

場 所 2月7日は長柄会館、堀内会館、上山口会館

14日は木古庭会館、下山口会館、一色小学校新館

- 議員が3班に分かれ、6会場で開催します。
 - テーマは設けず、フリートークです。
 - 申し込みは不要ですので、どの会場にでもお越しください。
 - 駐車場には限りがあります。
 - 悪天候などで中止の場合は、町のLINEで
お知らせします。



議会のライブ・録画中継は
スマートフォン、タブレット
でも視聴できます。



議会ホームページのトップの
Googleカレンダーから、
最新の議会日程が確認でき
ます。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。



「はやま議会だより」の 表紙写真・絵画(イラスト)募集!!



- 第1回の締め切りは12月17日
(163号発行は令和8年1月末)
 - 町内在住・在勤・在学の方
未発表・オリジナル作品に限る
 - 一人3点まで
 - 第三者の著作権や肖像権を侵害
しないもの

発行日の季節に合う写真や絵画を、広報委員会で選考します。

詳細は議会ホームページをご覧ください。



9月10月は、議員にとつて最も忙しい時期です。前年度事業評価をし、次年度に繋ぐための決算議会があります。防災訓練や商工会事業、町内会行事や運動会等もこの季節です。当町ならではの事業参加も大事な仕事で姉妹都市や友好都市、他市町への視察等もあります。私自身を含め町内会や各団体の一員でもある議員それぞれ東奔西走の時期と思われます。合間を縫つての編集作業に汗をかきまし

編集後記

議会広報常任委員会
議長 士佐洋子
委員 山田由美、笠原俊一、金崎荒井、窪田直彦、美樹ひさ
中村貢史、和雄



笠原俊一